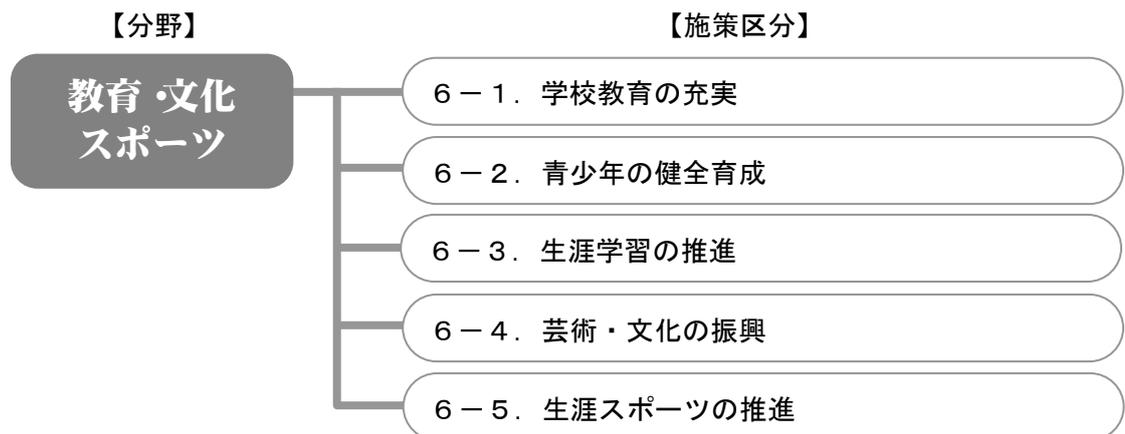


## 第6章 学び、考え、育む心豊かなまちづくり

---



## 6-1

## 学校教育の充実

## (1) 授業力 学力の向上

## ● 現況と課題

◆地域に開かれた学校づくり

地域住民や保護者に、教育活動の公開や情報提供を行い、多くの人からの意見を聞き、地域に開かれたよりよい学校づくりをさらに推進していくことが求められています。

◆学力向上が大きな課題

国際的な学力調査によると、日本の小中学生の学力低下が懸念される結果となっており、ゆとり教育の見直しを含め、子どもの学力向上が学校教育の課題となっています。本市においても、これらの課題への対応を検討していくことが求められています。

◆教師の授業力向上が児童生徒の学力向上に

学力向上の大きなカギとして、まずは教師の資質向上、とりわけ授業力の向上があげられます。一人ひとりの力量を高めるとともに、少人数授業や特別支援教育、環境教育、情報教育、小学校の英語活動等、新たな課題について研究を深めていくことも必要です。

◆先端大・寺井高校との連携、まちの先生の活用

北陸先端科学技術大学院大学と連携し、その高度な専門性を活かすことや、市内唯一の県立高校である寺井高校と交流することは、小中学校にとって有益なことです。これらの高等教育機関との連携や、まちの先生の活用を図り、学校と地域との結びつきを強めるとともに、特色ある教育活動を展開していく必要があります。

## ～ 市民の声 ～

- ◎小中学校における活動方針が見えない。特色ある学校づくりに努めてほしい。
- ◎学力低下に対応してほしい。
- ◎いじめなどがなく、みんなが仲良く勉強ができる学校にしてほしい。



小学校での授業風景

## ● 施策の展開方針

## 【施策目標】 確かな学力を身につけ、知性、個性、創造性に富む人間の育成

- 地域住民や保護者の意見を取り入れ、地域に開かれたよりよい学校づくりを進めます。
- 基礎学力調査や各種研究会・研修会により、教師の授業力のレベルアップを図ります。
- 北陸先端科学技術大学院大学及び寺井高校との連携やまちの先生の活用により、幅広い特色ある教育活動を展開します。

## ● 事業メニュー

施策の分類	事業メニュー	計画期間		事業主体・協働体制
		前期	後期	
地域に開かれた学校づくり	◇学校公開と情報の提供	○	○	<b>小中学校</b> 、保護者、市民
	◆学校評価の充実	○	○	<b>小中学校</b> 、保護者、市民
授業力の向上	◇基礎学力調査の分析と対策	○	○	<b>小中学校</b>
	◇能美市学校教育研究会の充実	○	○	<b>校長協議会</b> 、市内教職員
	◇校内研修会の充実	○	○	<b>小中学校</b>
	◆市主催研修会・研究会の充実	○	○	<b>学校教育課</b> 、市内教職員
特色ある教育の推進	◆先端大との連携推進	○	○	<b>学校教育課</b> 、小中学校、先端大
	◇寺井高校との連携推進	○	○	<b>学校教育課</b> 、小中学校、寺井高校
	◇まちの先生の活用	○	○	<b>小中学校</b> 、市民

※事業メニュー：「◆」は重点事業、事業主体・協働体制：「太文字」は事業主体（または市の担当課）

## ● 主な指標（目標値）

指 標	単 位	計画策定時	前期実績値	目標値	備考
		H18	H23	H28	
先端大との教育連携事業数	件/年	1	2	3	

## ● 市民へのメッセージ

- ★小学校・中学校の公開日や公開週間、授業参観、行事等には積極的に参加しましょう。
- ★学校での学びがさらに豊かな学びとなるように、家庭でも学習する習慣を身につけさせましょう。

## (2) 心の教育の推進

### ● 現況と課題

#### ◆規範意識の低下と際立つ心の貧困さ

全国で青少年による残虐な事件が相次いでいます。これは、規範意識の低下や、自己中心的で人間関係を円滑に保てないなど、現代における若者の心の貧困さを象徴するものです。また、働くことへの意識も大きく変化し、「フリーター」や「ニート」も急増しています。

#### ◆道徳・特別活動を中心とした心の教育の推進

このような社会情勢の中、基本的な生活習慣や倫理観、社会のルールやマナーなどを社会全体で育てていくことが必要です。学校においては、道徳や特別活動の授業を中心として、体験的・実践的な活動を充実し、生き方について深く考えさせる教育を推進していく必要があります。

#### ◆読書活動の推進

小さい頃から本に親しむことは、豊かな心の形成には欠かせないものです。学校においても、本に触れる機会を増やし、読書好きな子を育てることが必要です。

#### ◆家庭への啓発が必要

家庭での心の教育を進めるために、PTAと連携しての家庭教育講座を開催したり、保育園と連携して、早い段階での家庭への啓発を図っていくことが必要です。

### ～ 市民の声 ～

- ◎基本的な公共ルール、交通ルール等の指導など、モラルの向上をもっと図るべき。
- ◎一番大切なのは教育である。後々を考えて道徳教育を復活してもらいたい。
- ◎家族を大切にする、地域を大切にする、ひいては町、市を大切にする心を育てることが大切。



職場体験風景

### ● 施策の展開方針

#### 【施策目標】責任とモラルを重んじ、心豊かに、将来を切り拓く人間の育成

- 道徳や特別活動を中心として、学校における心を育む教育活動を充実していきます。
- 読書活動の推進のため、学校図書館の整備や市立図書館との連携に努めます。
- PTAや保育園と連携して、家庭への啓発活動を展開します。

## ● 事業メニュー

施策の分類	事業メニュー	計画期間		事業主体・協働体制
		前期	後期	
道徳教育や体験活動の充実	◆道徳教育の充実	○	○	<b>小中学校</b> 、保護者、市民
	◆特別活動の充実	○	○	<b>小中学校</b> 、保護者、市民
	◇ふるさと教育の推進（再掲）	○	○	<b>小中学校</b> 、学校教育課、まちの先生、郷土史研究団体
	◇進路指導（キャリア教育）の推進	○	○	<b>小中学校</b> 、企業
読書活動の推進	◇学校図書館の整備	○		<b>小中学校</b> 、学校教育課
	◇市立図書館との連携	○	○	<b>小中学校</b> 、市立図書館
	◇学校図書館司書の全校配置	○	○	<b>学校教育課</b>
家庭への啓発・支援	◇PTAとの連携による家庭教育講座の開催	○	○	<b>小中学校</b> 、PTA
	◇保育園との連携による啓発活動の推進	○	○	<b>小学校</b> 、保育園、子育て支援課

※事業メニュー：「◆」は重点事業、事業主体・協働体制：「太文字」は事業主体（または市の担当課）

## ● 主な指標（目標値）

指 標	単位	計画策定時	前期実績値	目標値	備考
		H18	H23	H28	
学校図書館司書の配置校数	校	4	11	11	

## ● 市民へのメッセージ

- ★親子のふれあい、コミュニケーションを大切にして、子どもが安心して過ごせる家庭を築きましょう。
- ★社会性や道徳心の育成、家庭での躾しつけに自信を持って取り組みましょう。
- ★家族とともに幼い頃から本に親しみ、読書する習慣を身につけましょう。

### (3) 健康・体力の増進

#### ● 現況と課題

##### ◆体力や運動能力が全国平均を上回る

平成22年度の体力テストによると、石川県は、多くの調査項目で全国平均を上回っており、運動の奨励や体力の増進が順調に取り組まれていることがわかります。市内の小中学校でも同様の結果が出ており、特に市内中学生の持久力は、全国平均を大きく上回っています。

##### ◆スポーツへの意欲づけと体力の向上

運動好きの子を育てることが、体力向上につながります。小さい頃から運動やスポーツの楽しさを味わわせることが大切です。また、小学校において計画的に基礎体力を養う取り組みが必要です。

##### ◆基本的な生活習慣の確立

「朝食を食べない」「睡眠時間が短い」という児童・生徒が増えています。家庭と連携して、基本的な生活習慣の確立を図り、自らの健康管理ができる人間の育成が求められます。

##### ◆安全教育の推進

交通事故や不審者による犯罪等、子育てをする上で不安な時代となっています。地域や保護者と連携して見守り活動を強化するとともに、交通事故や不審者から身を守る危険回避能力の育成を図っていく必要があります。

#### ～ 市民の声 ～

◎次世代を担う子どもたちの健康、体力問題等、あらゆる分野を総括した教育フォーラムを開催してほしい。

◎全国大会に通用する部活動を頑張ってほしい。

◎中学校に進学し、クラブ活動にも積極的に参加しているわが子を見ると、毎日が忙しく疲れて本業の勉強がおろそかになっているように感じる。



水泳記録会の様子

#### ● 施策の展開方針

##### 【施策目標】自らの健康や体力の増進に積極的に取り組む、元気・活力ある人間の育成

- 体育の授業や行事を通じたスポーツへの意欲づけを推進し、スポーツ好きの子の育成を図ります。
- 家庭と学校の連携により、子どもの基本的な生活習慣の確立を図ります。
- 家庭・地域・学校の連携による通学時等の見守り活動を推進するとともに、自分自身の身を守る安全意識の高揚を図ります。

## ● 事業メニュー

施策の分類	事業メニュー	計画期間		事業主体・協働体制
		前期	後期	
スポーツへの意欲づけ	◇体力テストの分析と対策	○	○	<b>小中学校</b>
	◇各種体育行事を通しての意欲づけ	○	○	<b>小中学校</b>
	◇基礎体力づくりの推進	○	○	<b>小中学校</b> 、保護者、市民
基本的な生活習慣の確立	◇食育の推進	○	○	<b>小中学校</b> 、保護者
	◇PTAと連携しての家庭への啓発	○	○	<b>小中学校</b> 、PTA
安全意識の高揚	◆実践的な訓練による危険回避能力の育成	○	○	<b>小中学校</b> 、保護者
	◇家庭・地域との連携による見守り活動の推進	○	○	<b>小中学校</b> 、保護者、市民

※事業メニュー：「◆」は重点事業、事業主体・協働体制：「太文字」は事業主体（または市の担当課）

## ● 主な指標（目標値）

指 標	単 位	計画策定時	前期実績値	目標値	備 考
		H18	H23	H28	
体力テストの結果（小6）	点	49.5	51.0	53.5	全国平均を50とした点数

## ● 市民へのメッセージ

- ★親子で楽しく、運動やスポーツに親しみましょう。
- ★規則正しい食生活や習慣を身につけ、心身ともに健康に過ごしましょう。
- ★地域の人たちとのつながりを大切にして、安心して暮らせる地域づくりに努めましょう。

## (4) 教育環境の充実

### ● 現況と課題

#### ◆小中学校の改修整備

市内の小学校8校、中学校3校の設備状況をみると、建築年度では辰口中学校が昭和36年で最も古く、他の校舎については40年代～50年代半ばに建設されているのが現状です。市内の各校において順次、大規模改修や増築、耐震補強工事、冷暖房設備等の整備を図ることで教育環境の充実に取り組んできています。整備の進捗度は県下並びに全国レベル以上となっていますが、市として改めて一元的な整備計画を立案し、継続して教育施設の改修整備をさらに進める必要があります。

#### ◆情報化に対応できる教育環境の整備・充実

21世紀に入り、コンピューターは世界的ネットワークの構築はもとより、一般家庭にも急速に浸透してきています。本市ではすでに、小中学校へのコンピューターの配備を進めてきましたが、さらなる情報化に対応できる教育環境と、児童・生徒の情報活用能力の育成を図るため、コンピューター教室の充実に加え、校内LANや通常教室へのパソコン配備や学校間LANの構築等が求められています。

#### ◆教育相談体制の強化に向けて

子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。そのため、不登校や非行、発達障害など、子育てに悩みを持つ保護者が増えています。市として、教育センターを充実させ、保護者の相談に応える体制を整えることが必要です。

### ～ 市民の声 ～

- ◎財政が苦しくなっても子ども達には充実した教育環境を与え続けられるようにしてほしい。
- ◎各学校内の施設を平等に設置してほしい。
- ◎学校施設整備について、特に、校舎冷房化の要望が強い。



根上中学校校舎

### ● 施策の展開方針

#### 【施策目標】次代を担う児童、生徒を育む教育環境の整備

- 小中学校の校舎等の整備については、各校ごとの整備状況を踏まえ、耐震補強や大規模改修工事等による学校施設の安全性と機能向上を図ります。
- コンピューター教室の整備・充実を推進し、コンピューター教育の質の向上を目指します。
- 教育センター内に教育相談室を開設し、保護者の子育て支援を図ります。また、学生や保護者の経済的な援助のため、奨学金制度の継続的な実施を図ります。

## ● 事業メニュー

施策の分類	事業メニュー	計画期間		事業主体・協働体制
		前期	後期	
教育施設の整備 充実	◇小学校耐震補強整備の推進	○		教育総務課、小学校
	◇小学校防音建具復旧整備の推進	○	○	教育総務課、小学校
	◇小中学校空調設備の整備	○	○	教育総務課、小中学校
	◇小学校校舎整備の推進	○	○	教育総務課、小学校
	◆中学校校舎整備の推進	○	○	教育総務課、中学校
コンピューターの 整備・充実	◆学習コンピューターの整備・充実	○	○	教育総務課、小中学校
	◇学校間LANの整備	○		教育総務課、小中学校
その他の教育環 境の整備	◆教育相談室の開設	○	○	学校教育課
	◇奨学金制度の継続	○	○	教育総務課
	◇学校選択制の検討	○		学校教育課

※事業メニュー：「◆」は重点事業、事業主体・協働体制：「太文字」は事業主体（または市の担当課）

## ● 主な指標（目標値）

指 標	単 位	計画 策定時	前期 実績値	目標値	備 考
		H18	H23	H28	
冷暖房設備の整備校数	校	5	7	11	

## ● 市民へのメッセージ

★子どもたちが、進化し続ける情報化社会に正しく対応するために、情報モラルや情報活用方法を指導しましょう。

★教育相談室や奨学金制度を活用し、子どもの教育環境の充実に努めましょう。

## 6-2

## 青少年の健全育成

## ● 現況と課題

## ◆青少年の健全育成に対する取り組み

本市では、「青少年問題協議会」を組織し、青少年の指導、育成、保護などに関する基幹的事項について審議しています。また、青少年健全育成センターを設置し、青少年の健全育成や非行防止に関しての具体的取り組みを行っています。取り組みの一つとして、各学校生活指導担当教諭、PTAの方々とともに、お祭りの日と夏休み期間中に毎週3回、地区別にパトロール活動を実施しています。

## ◆青少年問題に対応できる体制づくり

上記の取り組み以外に、専門家や有識者を招聘し、青少年に関わる今日の問題の対応策を考える教育懇談会を開いています。最近のインターネットの普及と急速なスマートフォンの普及により生じている問題とそれらを悪用した事件、不審者による事件など、青少年に対する問題が表面化している中で、各方面との連携をより深め、迅速な対応を行う体制を整えていく必要があります。

## ◆豊かな心を育む教育の推進

本市では、「能美市豊かな心を育む市民会議」を組織し、家庭・学校・地域が連携して健やかな子どもたちの育成を目指しています。毎月15日を「ふれあいあいさつデー」として、あいさつや交通安全指導などの取り組みを行い、家庭・学校・地域が一体になって子どもたちを見守る体制を整えています。今後も、さまざまな組織との連携を図り、子どもたちを見守るためのネットワークを充実していく必要があります。

## ～ 市民の声 ～

- ◎家族を大切にする、地域を大切にすることを赤ちゃんのころから育てていきたい。
- ◎町づくりは人づくりが出来てこそだと思います。
- ◎あいさつ運動は、まず大人から生活の中でなすべきことをしていかなければならない。子どもはちゃんと見ている。
- ◎青少年の犯罪のない町づくりを願いたい。
- ◎見守り隊を老人会、女性会にも参加していただき、地域ぐるみで青少年の健全育成の推進を図りたい。



あいさつ運動の様子

## ● 施策の展開方針

## 【施策目標】青少年健全育成のためのネットワークの整備

- PTAや警察をはじめとする様々な組織との連携を強化し、地区パトロール等の活動を継続的に実施するとともに、青少年問題について迅速に対応できる体制づくりを推進します。
- あいさつ運動の継続的実施やたばこ・性に関する青少年教育の推進など、家庭・学校・地域の連携による地域教育・家庭教育の充実を図ります。

## ● 事業メニュー

施策の分類	事業メニュー	計画期間		事業主体・協働体制
		前期	後期	
青少年活動の推進	◇青少年野外研修活動の推進	○	○	<b>生涯学習課</b>
	◇地区パトロールの充実	○	○	<b>生涯学習課</b> 、保護者、各種団体、市民
	◆非行防止啓発事業の推進	○	○	<b>生涯学習課</b> 、保護者、警察署、市民
	◇「青年の家」の整備充実	○		<b>生涯学習課</b>
地域教育の推進	◆ふれあいあいさつデーの推進	○	○	<b>生涯学習課</b> 、町会・町内会、市民
	◇子育てカレンダーの継続発刊	○	○	<b>生涯学習課</b>
	◇子ども会活動の充実	○	○	<b>生涯学習課</b> 、子ども会
	◇ウィークエンドサークル活動の継続	○	○	<b>生涯学習課</b> 、子どもサークル
家庭教育の支援	◆ふれあい教室・教育講座の推進	○	○	<b>生涯学習課</b>
	◇携帯電話等対策プロジェクトの推進	○	○	<b>生涯学習課</b> 、先端大、保護者
	◇たばこ・性に関する教育の促進	○	○	<b>生涯学習課</b>

※事業メニュー：「◆」は重点事業、事業主体・協働体制：「太文字」は事業主体（または市の担当課）

## ● 主な指標（目標値）

指 標	単位	計画策定時	前期実績値	目標値	備考
		H18	H23	H28	
ふれあい教室・教育講座の実施回数	回/年	53	48	48	現況はH17値
夏休みわくわく教室の推進	教室数	3	3	3	

## ● 市民へのメッセージ

- ★心豊かでたくましく生きる子どもたちの育成を目指し、学校・家庭・地域が協力・連携し、体験活動を重視した心の教育を推進しましょう。
- ★子どもたちの低下している規範意識を少しでも高めるために、親や大人が率先して「ふれあいあいさつデー」運動を推進しましょう。

## 6-3

## 生涯学習の推進

## ● 現況と課題

## ◆生涯学習への取り組み

人々の学習意欲の高まりと、旧3町での各種学習施設の整備により、趣味の教室、教養講座や健康教室をはじめ、スポーツクラブ、ボランティアグループ及び児童クラブといった多方面にわたる学習活動が行われています。

今後、さらなる学習分野の広がりやニーズの多様化が予想され、これまで以上に、自治公民館やその他学習施設の機能拡充が必要となります。自ら選んだ学びのテーマについて必要なときに学び集うことができるよう、学習機会の充実等による生涯学習支援体制の強化が求められます。

## ◆図書館における幅広いサービスの提供

本市には図書館が3館あり、それぞれ地域住民への図書等の提供をはじめ、講演会や講座の開催、移動図書館車の運行など、幅広い住民サービスを行っており、図書館利用者・登録者数は増え続けています。今後も、生涯学習施設としての施設運営が求められており、市立図書館として組織の一体化を進め、運営の効率化を図りながら、3つの図書館の特色を活かし、利用者のニーズに沿った施設運営を図っていく必要があります。

## ◆生涯学習施設の整備

これまで、生涯学習の推進に向けて、その活動拠点となる施設を整備してきました。今後も、これらの施設の整備・充実を図るとともに、市民がいつでも利用できるよう、学習ニーズに合った運営を行っていく必要があります。

## ～ 市民の声 ～

- ◎住民が気軽に利用できるような工夫と特色ある施設運営が求められる。
- ◎人と人との交流の場所を作って欲しい。
- ◎ボランティア活動に対する支援の増進と市民参画型の活動を推進して欲しい。
- ◎子どもの為に親の世代が学ぶ場・機会を増やして欲しい。



パソコン教室の様子

## ● 施策の展開方針

## 【施策目標】生きがいある人生を創造する学習の推進

- 生涯学習機会の充実や施設間・組織間の連携強化を図り、子どもから高齢者までの多様なニーズに対応した生涯学習推進体制の確立を図ります。
- 図書館については、子どもの読書環境の整備・充実や地域情報発信拠点としてのグレードアップを図るとともに、地域に根ざした市民の生涯学習拠点施設としての運営を推進します。
- 学校や社会教育団体との連携を促進するとともに、生涯学習の普及・啓発に努めます。
- 旧辰口学校給食センター跡地については、図書館・博物館を含め、総体的な観点から有効利用を検討します。

## ● 事業メニュー

施策の分類	事業メニュー	計画期間		事業主体・協働体制
		前期	後期	
生涯学習推進体制の確立	◆生涯学習推進基本構想・計画の策定	○	○	生涯学習課
	◇生涯学習推進のための組織の充実	○	○	生涯学習課
	◇自治公民館活動の支援と連携	○	○	中央公民館、地区公民館
	◇学びの成果を活かす場の提供	○	○	生涯学習課、地区公民館
	◇地域学習リーダーの育成	○	○	生涯学習課、地区公民館
生涯学習機会・施設の充実	◇学習情報収集・提供システムの確立	○	○	生涯学習課
	◇学習機会の継続と拡充	○	○	生涯学習課、地区公民館
	◆新しい学習プログラムの開発	○	○	生涯学習課
	◆市民大学の開設（再掲）	○	○	生涯学習課、先端大
	◇子育て支援との連携促進	○	○	子育て支援課
	◇学習施設の整備及び多機能化・バリアフリー化の推進	○	○	生涯学習課
生涯学習活動の啓発・連携	◇施設相互の連携強化	○	○	生涯学習課
	◇まなびフェスタの継続	○	○	生涯学習課、市民
	◇学校及び社会教育団体との連携	○	○	生涯学習課、社会教育関係団体

※事業メニュー：「◆」は重点事業、事業主体・協働体制：「太文字」は事業主体（または市の担当課）

## ● 主な指標（目標値）

指 標	単位	計画策定時	前期実績値	目標値	備考
		H18	H23	H28	
教室・講座への参加者数	人	1,285	1,812	2,000	
市民大学講座受講者数	人	—	0	30	
図書館利用登録者数	人	28,895	39,101	44,101	

## ● 市民へのメッセージ

★市民一人ひとりが、自ら進んで選んだ学習や活動を生涯にわたって継続し、自ら培った知識と経験を地域に還元しましょう。

★生涯学習を通じて、生きがいと思いやりのある人生を創造しましょう。

## 6-4

## 芸術・文化の振興

## ● 現況と課題

## ◆文化団体の現状

本市では、旧3町の文化協会を統合して能美市文化協会を設立しました。平成24年4月現在、37団体が加入しており、各分野において多様な文化活動が展開されています。また、美術作家協会は、芸術文化の普及、向上、育成、保護に努めるとともに、市民に向けて展覧会等を開催しています。しかし、会員の高齢化と会員数の減少傾向がみられ、活動の鈍化が懸念されています。

## ◆市民川柳大会の開催

平成4年に開催された国民文化祭による川柳大会をきっかけに、現在は「NHK学園 能美市根上川柳大会」として全国からの投句をもって開催しています。しかし、大会参加者が減少し、開催内容の検討・見直しが必要とされています。今後も全国に発信する大会としての継続した体制づくりが求められます。

## ◆根上総合文化会館の活用に向けて

平成6年にオープンした根上総合文化会館は、タント演劇学校・タント音楽学校の拠点として、多くの演奏会や講演会を開催してきました。しかし、最近は演劇学校の参加者の減少や主催公演等の収支において厳しい状況にあり、質の高い音楽ホールとしての機能が十分に活用されていないのが現状です。今後は、本市の文化交流拠点として位置づけ、利用促進に向けた取り組みを行っていく必要があります。

## ～ 市民の声 ～

- ◎文化会館は有効に利用されておらずに日本海随一の設備がもったいない。
- ◎音楽ホールがあるので音楽に関する事にもう少し力を入れてほしいです。全国レベルの辰口中学校、根上中学校があるので、ぜひ、利用できるシステムで市民バンドなど作ってほしいです。
- ◎芸術文化のかおりのする街を目指してほしい。



発表会の様子

## ● 施策の展開方針

## 【施策目標】市民とともに創造する芸術・文化のまちづくり

- 各種芸術・文化活動への運営支援及び活動拠点施設の整備等により、地域文化活動を推進します。
- 川柳大会を通じた全国的な文化交流を促進するとともに、市民活動を主体とした芸術・文化イベントの開催を推進します。
- 文化協会を中心とする各種文化団体の連携を強化し、芸術・文化推進体制の充実を図ります。
- 根上総合文化会館において、演劇学校・音楽学校のあり方や公演等の見直しを図るとともに、小中学校の音楽活動を含めた発表会や演奏会を開催し、質の高い音楽ホールの有効利用を推進します。

## ● 事業メニュー

施策の分類	事業メニュー	計画期間		事業主体・協働体制
		前期	後期	
地域文化活動の推進	◆郷土民俗芸能保存会の育成	○	○	生涯学習課、保存団体、自治公民館
	◇アーティスト村を活かした市民芸術交流の推進	○	○	アーティスト村、生涯学習課、市民
芸術・文化の催し物の開催	◇まちなか市民ギャラリーの開催	○	○	市民 市民団体
	◇市民川柳大会の充実	○	○	生涯学習課、文化協会、市民
芸術・文化推進体制の充実	◇文化協会の活動支援と各種文化団体の育成・支援	○	○	生涯学習課、文化協会、市民
根上総合文化会館の運営促進	◇主催公演等や貸し館としての運営促進	○	○	生涯学習課、文化団体、市民

※事業メニュー：「◆」は重点事業、事業主体・協働体制：「太文字」は事業主体（または市の担当課）

## ● 主な指標（目標値）

指標	単位	計画策定時	前期実績値	目標値	備考
		H18	H23	H28	
郷土民俗芸能保存会の設置数	団体	14	14	16	
文化協会会員数	人	2,970	2,500	2,500	

## ● 市民へのメッセージ

★市内には、同好の人たちが集まって文化活動を行っている団体や文化活動を行う場を提供する文化施設が多くあります。文化団体や文化施設を積極的に活用し、自らの芸術・文化意識を高め、芸術・文化のまちづくりを目指しましょう。

★古くから地域に受け継がれてきた伝統芸能の保存・継承に努めましょう。

## 6-5

## 生涯スポーツの推進

## ● 現況と課題

## ◆生涯スポーツの推進

生活環境の変化や健康志向の高まりを受け、人々のライフステージに応じたスポーツへの興味・関心が高まってきており、種目に対するニーズも多様化してきています。このことから、幅広いスポーツのインストラクター、体育指導委員をはじめとする指導者の充実、資質向上が求められています。これらの多様なニーズへの対応として、地域住民が主体的に運営し、誰でも参画できる「総合型地域スポーツクラブ」を創設する地域が全国的に増加しており、本市においても創設に向けた検討を行い、地域のスポーツ環境を整備していくことが望まれます。

## ◆競技力の向上に向けて

本市では、青少年の健全育成の一助として、各競技種目のジュニアクラブ及びスポーツ少年団への運営支援をはじめ、種々の活動支援を行っています。しかし、保護者のクラブ等に対するニーズの多様化をはじめ、指導者不足により子どものレベルに応じた指導が困難であることや、指導の一貫性に欠けることが問題視されています。他方、市民体育大会等の開催や体育協会への活動支援により、各競技における選手の発掘、底辺の拡大を図っています。しかし、最近では大会参加者の固定化、高齢化が目立つことから、より多くの若者の参加促進と市民が参加したくなるような工夫が求められています。

## ◆体育施設の整備について

本市には、体育館等の体育施設が約50施設あります。しかし、用具を含め老朽化しつつある施設が多く、修繕・改修による計画的な整備が必要となっています。また、体育施設の維持管理の面から、指定管理者制度による運営や施設の統廃合も含め検討していく必要があります。

## ～ 市民の声 ～

◎市営のスポーツクラブ施設（多目的なクラブハウスのようなところ）が根上地区にあればいいかなと思う。

◎自分の会社は月曜日が定休日なのですがスポーツ施設が休みの為利用できない。当番制を取り入れて健康維持の為にも使えるように出来ないでしょうか。

◎単一スポーツではついていけない子ども、スポーツが嫌いな子ども、何をしたらいいかわからない子どものための、娯楽を交えた軽スポーツ、遊びの中でのスポーツを楽しむ、そんな組織を作ったらいかがですか。



健康クラブ交換会

## ● 施策の展開方針

## 【施策目標】スポーツをライフスタイルに取り入れることのできる環境の整備

- 生涯スポーツ活動を推進するとともに、「総合型地域スポーツクラブ」の計画的創設を目指します。
- 指導者の養成と資質向上を図るとともに、体育協会等への支援による競技力の向上に努めます。
- 市民が気軽にスポーツに親しめるよう、施設・用具等の整備・充実を図ります。

## ● 事業メニュー

施策の分類	事業メニュー	計画期間		事業主体・協働体制
		前期	後期	
生涯スポーツ活動の推進	◆市民総スポーツ運動・活動の推進	○	○	スポーツ課、市民、公民館、スポーツ推進委員
	◇地域スポーツの指導者養成と確保	○	○	スポーツ課、市民、体育協会、学校
	◇総合型地域スポーツクラブの育成	○	○	スポーツ課、体育協会、市民、スポーツ推進委員
	◇スポーツ推進委員の効果的な役割充実	○	○	スポーツ課、スポーツ推進委員
競技スポーツの充実・向上	◆指導者の養成と資質の向上	○	○	体育協会、各種競技団体
	◆市民体育大会の充実	○	○	体育協会、各種競技団体、市民
	◇各種スポーツ団体の育成・支援	○	○	スポーツ課、ジュニアスポーツクラブ、一般クラブ
	◇体育協会への効果的支援	○	○	スポーツ課、体育協会
体育施設・用具の整備・充実	◇スポーツ施設の利便性の充実	○	○	スポーツ課、指定管理者、市民
	◆施設管理、運営方針の充実	○	○	スポーツ課、指定管理者

※事業メニュー：「◆」は重点事業、事業主体・協働体制：「太文字」は事業主体（または市の担当課）

## ● 主な指標（目標値）

指 標	単 位	計画策定時	前期実績値	目標値	備 考
		H18	H23	H28	
総合型地域スポーツクラブ数	団体	0	0	3	
市民一人あたりのスポーツ施設年間利用回数	回/年	8	10	12	

## ● 市民へのメッセージ

★市民一人ひとりが週1回程度のスポーツに親しむ機会づくりにチャレンジしましょう。

★軽スポーツやウォーキングに親しむ仲間づくりをしましょう。